

保護者負担軽減計画について

<京都府提出資料>

学校名	大谷高等学校
所在地	京都市東山区今熊野池田町12
電話番号	075-541-1312

<p>(1)</p> <p>建学の精神</p>	<p>真宗大谷学園存立の精神 三つの指標                  設立の願い：浄土真宗の精神を世界に開くことを使命とする                  教育の理念：人間をエゴイズムから解放する教育と研究                  教育の方針：真の独立者として相互敬愛の心を有する人物を育成する                  学校スローガン “To Be Human (人となる)” を基盤とする仏教教育を展開する</p>																																										
<p>(2)</p> <p>本校の特色及び将来展望</p>	<p>「教育」・「生徒募集・進路指導」・「学校経営」の三分野において、それぞれの目標を設定し、ゆきとどいた教育を目指している。中等教育に赴く生徒の「入口」と「出口」を保証することにより、生徒の人間としての成長と学力伸長を実践するとともに「人となる」という初期の目的の一端を獲得したい。</p>																																										
<p>(3)</p> <p>・令和7年度納付金</p> <p>※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。</p> <p>・今回改定 あり <b>なし</b></p> <p>・前回改定 平成 29 年度</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">【1年生】</td> <td style="width: 15%;">入学金</td> <td style="width: 15%;">施設拡充費 (入学時)</td> <td style="width: 15%;">授業料</td> <td style="width: 15%;">施設拡充費等 * (経常的)</td> <td style="width: 15%;">計 (入学時除く)</td> <td style="width: 15%;">考査料</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【2年生】</td> <td></td> <td></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【3年生】</td> <td></td> <td></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料								【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計									【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計								
【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料																																					
【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
<p>・今後の納付金に対する考え方</p>	<p>物価高騰に伴い学校もその影響を強く受け、少子化の中、就学支援金、あんしん修学支援金の制度とともに奨学金対象者も増加し依然経営は厳しい状況である。しかし、生徒へのサービス向上は以前にもまして必要性が増し、業務改善努力し続けている状況でもある。                  本年度の納付金については非常に厳しい状況が継続される中、経費を削減により値上げせず据え置くこととし、生徒の健康と安全の確保は言うまでもなく教育・学習面でさらに充実を図りたいと考えている。</p>																																										
<p>(4)</p> <p>教育内容、施設整備の改善・拡充等の状況</p>	<p>本校は建学の精神を重んじ、人間教育を進めている。本校で学び、ふれあいを通じて生きる、自覚的人間の育成をめざし生徒が楽しく快適な学びの場となるよう教育内容の充実と体育系の施設整備の改善・拡充を図っている。グラウンド整備や体育館等の改修に取り組み、危機管理対応をより充実していくとともに、安全且つ効率的な環境、施設管理を図り生徒保護者へのサービス向上に努めていく。</p>																																										
<p>(5)</p> <p>令和7年度の保護者負担軽減策及び考え方</p>	<p>定着してきた「あんしん修学支援(国・就学支援金+京都府上乘せ)」、とは別に、支援制度の額を上回る支援をする制度を平成22年度より実施している。従前からの本校独自の奨学・修学支援制度も継続実施している。清澤教育給費金(授業料金額もしくは半額、教育費の全額)、廣小路奨学金(3万円限度に貸与)。</p>																																										
<p>(6)</p> <p>今後5年程度の保護者負担軽減計画</p>	<p>10年間の経営改善計画に沿って、充実した教育の提供と財務体系の合理化を図り、生徒保護者から広く求められる学校への経営努力を実施している。生徒・保護者から広くアンケートを実施し内容を経営改善に盛り込んでいる。現在の納付金額以上の教育サービス提供を目標とし、改善努力し続けている。</p>																																										